

背景・目的

- ◆2022～2029年の8か年のユネスコ中期戦略において、「ユース」が優先グループとして位置付け。
- ◆令和4年秋から、日本ユネスコ国内委員会において、ウクライナやアフガニスタン情勢、気候変動に伴う自然災害の深刻化、グローバル・サウスの台頭等を踏まえ、「国際情勢を踏まえたユネスコ活動等の推進」等について継続的に議論。
- ◆ユネスコ活動の活性化の一環として、日本の若者のユネスコ事務局（地域事務所を含む）での研修を推進するべく、ユネスコとの間で研修プログラムの創設に関する覚書に署名し、日本の若者がユネスコ事務局での勤務を経験することにより、ユネスコ活動に対する理解促進、国際機関職員をはじめとしたグローバルに活躍できる人材の育成、ユネスコ活動を活用した地域活性化等に貢献することを目指す。

令和5年
11月

文部科学省及びユネスコとの間で、ユネスコ活動を行っている団体等（大学、地方自治体等）に所属する学生・若手職員をユネスコに派遣する研修プログラムの創設に関する覚書に署名。

学生の派遣（令和6年度～）

- ①対象：ユニツイン／ユネスコチェアに認定されている大学からの推薦に基づく、大学院生
- ③派遣規模：年間最大14名程度（12大学、14か所から各1名）
- ②派遣期間：原則6か月以上（最長12か月）
- ④派遣先：ユネスコ本部、ユネスコ地域事務所
- ⑤経費支援：公益財団法人日本国際教育支援協会の協力の下、奨学金を支援可能

【第1期】4名：修了1名（ニューデリー事務所）、研修中3名（本部教育局ESD課、人文社会科学局スポーツ課、自然科学局防災課）

【第2期】4名：研修中（本部教育局健康教育課、自然科学局生態地球科学部MAB事務局、情報コミュニケーション局デジタルインクルージョン政策・DX課、アルマトイ事務所）

【第3期】8名：派遣準備中

「ユニツイン／ユネスコチェア登録大学」

①立命館大学	C
②岡山大学	C
③神戸大学	C
④京都大学	T/C
⑤島根大学	C
⑥長岡技術科学大学	T/C
⑦大阪大学	C
⑧九州大学	C
⑨横浜国立大学	C
⑩広島大学	T
⑪金沢大学	C
⑫上智大学	C

※T:ユニツイン C:ユネスコチェア